

色のイメージ調査

2 1 7 1 1 2 1 8 高田 真由

2 1 7 1 1 1 0 0 海藤 広

2 1 7 1 1 3 1 1 平田 大貴

1. 目的

色のイメージをSD法により、測定し因子分析を行った。

2. 方法

10の対象を用意し、18の形容詞対で評価した。多摩大生32人に聞いた。

3. 結果

第一因子は、青、水色、緑の寒色系になった。

第二因子は、赤、ピンク、紫の暖色系になった。

第三因子は、グレー、黒、色の無彩色になった。

	第1因子	第2因子	第3因子
グレー	-0.25	0.47	0.02
黒	0.06	0.88	-0.47
青	0.91	-0.17	0.03
黄色	0.73	-0.41	-0.49
赤	0.84	-0.20	-0.24
ピンク	0.48	-0.64	-0.12
水色	0.60	-0.29	0.35
紫	-0.05	0.08	-0.73
白	0.73	-0.16	0.01
緑	0.77	-0.14	0.19

4. 考察

因子分析の結果3つの因子が抽出され、それぞれ寒色系、暖色系、無彩色系と命名しました。今回の調査では色のイメージに対し、少し的外れな質問もあったが合っているものもあったので、その中で結果を出した。私たちはそれぞれの系統に合わせてイメージが出ると思い調査を行った。しかし、私たちの最初の仮説とは違う結果になってしまったので次回は質問内容や質問数などを工夫していきたいと思った。